

# 猪之鼻奨学会

編集発行者

公益財団法人  
猪之鼻奨学会

千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号  
〒260-8670 千葉大学医学部内  
電話 043-226-2509 内線5024

創立 1915年(大正4年)

猪之鼻奨学会報 第25号 題字 井出源四郎(第八代千葉大学学長)

## 若草の萌えるころに想う

千葉大学名誉教授・千葉大学予防医学センター客員教授  
猪之鼻奨学会理事・副会長

上野光一

当たり前のことが当たり前でなくなつた2020年。変えるべきものと守るべきものの選択を迫られた2020年。私たちは、この10年の間に「千年に一度の大震災」と「百年に一度のパンデミック」に見舞われた。

そのいずれにおいても、復興・復旧、社会の安心・安全の確保に尽力する医療者の献身は特筆に値する。大震災では「絆」が、パンデミックでは「3密」が流行語となつた。いずれも人と人とのつながりを指す言葉である。つながりといえば、猪之鼻奨学会も人とのつながりで成り立っている組織である。卒業生を基盤とした社会の先達から現役の大学生までのつながりをもつ組織である。事業の大半を占めるのは、大学生への奨学金の貸与と研究の第一線で世界と対峙する若手研究者への研究支援である。私も講師の時代に研究支援を受けたことが、今日を支えている。その研究支援に報いる年代に到達した現在、少しずつ恩返しをしたいと考えている。

多くの諸先輩から毎年多大な篤志を頂戴している。誠に有難いことである。奨学会からは感謝の記として感謝状・免税証明とささやかな記念品が送られるが、高額寄附者にはささやかでは申し訳ないということと、千葉大学医学部のレガシーである医学部本館屋上庭園で採蜜した千葉大学園芸学部謹製の「亥鼻キャンパスはちみつ」が返礼されるという。何とも粋な計らいではないか。

一方、奨学金貸与に私は縁遠かつた。親の収入が良過ぎた所為と成績順位に後れを取つていた所為であるが、この二重苦は如何ともし難かつた。せめて、成人してからの奨学金貸与であるので、家族の収入証明提出は勘弁してほしいと願つたものである。今回のコロナ禍では、今まで気づかなかつたことを気づかせてくれた。デジタル時代にアナログの安らぎを再認識させてくれたのはなからうか。147年連続と続く先輩から後輩へのバトンを大切に守り、真理の探究、人類の健康と福祉、安心・安全に献身する組織を守りつづけた。

### 【追記】

\*猪之鼻奨学会では、2020年度より、ご寄附をいただいた方々へ心ばかりの粗品を送りすること、また個人にて

## 医師の働き方改革を考える

地域医療機能推進機構(JCHO)理事  
千葉大学病院特任教授

山本修一

高額なご寄附をいただいた方々につきましては、医学部産のはちみつを後日お送りすることを理事会にて決議いたしました。

コロナ禍で長らく止まっていた厚労省の「医師の働き方改革」の推進に関する検討会だが、昨年12月に中間取りまとめを行い、必要な法改正が進んでいる。コロナ禍を受けて、改革の方向性を見直すべしとの意見も多く出されたが、一般職ではすでに始まっている時間外労働規制が、医師だけは5年先延ばしになっていったのだから、検討の再開は当然のことだろう。私は、2017年8月に発足した「医師の働き方改革に関する検討会」から大学病院の立場で議論に参加してきた。そもそも今回の医師の働き方改革は、一人一人の医師にスポットライトが当たつた、初めての医療体制改革と言える。敗戦により日本の医療体制は完全に崩壊し、戦後70年以上をかけて整備が進み、世界でも有数の長寿命を誇るまでになった。ハコモノの整備に始まり、質的向上にも力が注がれてきたが、根

幹の部分では、我が国の医療は医師の自己犠牲的な長時間労働により支えられてきた。また医師自身も「医者つて特別だよ」という常識(あるいは幻想、あるいは優越感)の下に、過重労働に疑問を持たずにきた。一連の検討では、このような「常識」に対して明確に異を唱え、医師一人一人に焦点を当てて医療制度改革の必要性を訴えている。しかも、これまでの医療制度が過酷な医師の労働環境を前提としていたために、この前提条件を変えるためには、医療体制そのものの抜本的改革が不可欠であり、そのような大改革がわずか5年で成し得るのか誰もが疑問に思うのは当然のことである。「年1860時間」という時間外勤務の上限規制は、一般職の720時間に比べれば明らかに異常であり、多くの意見(無責任かつ感情的な)があるものの、医療体制の崩壊という最悪の事態を避けるた

## ご寄附のお願いと寄附金の税額控除のお知らせ

猪之鼻奨学会は、大正4年(1915年)に創立されて以来、多くの方々からの善意の寄附金により奨学事業並びに研究助成事業を実施してきております。

平成24年4月1日「公益財団法人」として、新たにスタートした猪之鼻奨学会は、「定款」に謳いますよう、医学及び薬学の研究を奨励することを目的として、研究実績の優秀な者に研究費の補助、そして学資の欠乏を告げた学生に学資の貸与を行います。これらの事業を遂行するために、どうか皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

一口5,000円ですが、ご都合により何口でも結構です。

同封の郵便振替用紙にてお振込み下さい。

ご入金を確認後、財団から税額控除証明書と領収書をお送りします。これらの書類を控除証明書として確定申告の際にお手続き下さい。ご寄附いただいた寄附金については、税法上の優遇措置があります。寄附金控除額として算出し、所得税額より差し引くことで申請可能です。寄附控除として【所得控除】もしくは【税額控除】のどちらか有利な控除を選択いただけます。年間寄附金額や所得税率によって異なりますが、一般的に【税額控除】を選択していただきますと所得税額が少なくなります。

今後とも、皆様方の一層のご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人猪之鼻奨学会 理事・評議員一同

めにはやむを得ない妥協点と言わざるを得ない。また、働き方改革の達成のためには、地域医療体制の改革と医師の偏在対策も避けて通れないため、厚労省は「三位一体の改革」という旗印の下に一気に進めようとしており、関係者の中に摩擦が生じ始めている。とはいえ、後者二つの改革に残された時間の猶予

はわずかであり、関係者は目先の利益のみにとらわれることなく、知恵を絞る汗をかかなくてはならない。一般の医師には馴染みのない労働法制問題だが、この医師の働き方改革を決して他人事とは思わず、日本の医療にとつて大きなプラスの効果を得られるよう、前向きに取り組むべきだろう。

2020年度 公益財団法人猪之鼻奨学会事業報告

自2020年4月1日 至2021年3月31日

1. 事業の状況

(1) 研究助成金(150万円)の助成 内訳 各30万円 5件(一般の部:4名 若手の部:1名)

【一般の部】

所 属	研究領域	氏 名	研 究 課 題
千葉大学医学部附属病院	整形外科	萩原 茂生	骨質と骨形態に着目した新たな大腿骨近位部骨折のリスク評価モデルの開発
千葉大学医学部附属病院	呼吸器内科学	安部 光洋	間質性異常影(ILA)を有する患者の周術期リスクコアリングシステムの構築
日本大学薬学部薬理学研究室	神経薬理学	宮岸 寛子	神経障害性疼痛の慢性化機構におけるインターロイキン-31およびその受容体の役割
日本大学薬学部	神経科学	徳田 栄一	細胞間を伝播するタンパク質凝集体の制御因子を網羅的に検出できるプロテオーム手法の開発

【若手の部】

所 属	研究領域	氏 名	研 究 課 題
千葉大学大学院薬学研究院	毒性学	竹村 晃典	致死性の薬物性肝障害の機序解明を指向した薬物による肝内胆管リモデリング阻害のメカニズム解析

(2) 奨学金の貸与  
希望者なし

(3) 猪之鼻奨学会報の発行(11,740部)  
薬学部 4,400部  
医学部 7,340部

収 支 内 訳 書

令和2年4月1日~令和3年3月31日

公益財団法人猪之鼻奨学会

(単位:円)

	科 目	当年度	前年度	増 減	備考
収 入 の 部	1. 基本財産運用収入				
	基本財産利息収入	8,995	5,840	3,155	
	事業収入	0	0	0	
	2. 寄附金収入				
	寄附金収入	6,353,000	4,597,000	1,756,000	
	3. 貸付金回収収入				
	貸付奨学金回収収入	0	0	0	
	4. 雑収入				
	受取利息	24	14	10	
	当期収入合計	6,362,019	4,602,854	1,759,165	
支 出 の 部	1. 事業費				
	研究助成金(給付)	1,500,000	1,800,000	△ 300,000	
	奨学金(貸与)	0	0	0	
	事業費合計	1,500,000	1,800,000	△ 300,000	
	2. 管理費				
	給 料	501,599	821,084	△ 319,485	
	旅費・交通費	0	71,780	△ 71,780	
	手当・謝金	50,000	50,000	0	
	事務備品費	22,660	6,740	15,920	
	消耗品費	21,349	15,901	5,448	
	印刷費	346,512	174,960	171,552	
	交際費	0	17,274	△ 17,274	
	賃借料	36,389	35,682	707	
	通信運搬費	47,818	20,558	27,260	
	会議費	8,640	12,862	△ 4,222	
	支払手数料	294,800	290,840	3,960	
	ホームページ関連費	11,995	45,256	△ 33,261	
	租税公課	1,380	895	485	
	記念品費	60,910	0	60,910	
	修繕費	0	0	0	
雑 費	38,143	78,561	△ 40,418		
管理費合計	1,442,195	1,642,393	△ 200,198		
当期支出合計	2,942,195	3,442,393	△ 500,198		

貸 借 対 照 表

令和3年3月31日現在

公益財団法人猪之鼻奨学会

(単位:円)

	科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部	1. 流動資産			
	現金預金			
	現 金	30,646	5,476	25,170
	普通預金	1,603,945	1,209,291	394,654
	流動資産合計	1,634,591	1,214,767	419,824
	2. 固定資産			
	(1) 基本財産			
	基本財産有価証券	0	0	0
	基本財産預金	60,030,800	60,030,800	0
	土 地	0	0	0
	基本財産合計	60,030,800	60,030,800	0
	(2) 特定資産			
	貸付奨学金	2,400,000	2,400,000	0
研究助成基金	18,000,000	15,000,000	3,000,000	
特定資産合計	20,400,000	17,400,000	3,000,000	
(3) その他固定資産				
その他固定資産合計	0	0	0	
固定資産合計	80,430,800	77,430,800	3,000,000	
資産合計	82,065,391	78,645,567	3,419,824	
II 負債の部	1. 流動負債			
	未払金	0	0	0
	預り金	0	0	0
	賞与引当金	0	0	0
	流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債				
退職給付引当金	0	0	0	
修繕引当金	0	0	0	
固定負債合計	0	0	0	
負債合計	0	0	0	
III 正味財産の部	1. 指定正味財産	81,982,486	78,489,243	3,493,243
	2. 一般正味財産	82,905	156,324	△ 73,419
	正味財産合計	82,065,391	78,645,567	3,419,824
負債及び正味財産合計	82,065,391	78,645,567	3,419,824	

公益財団法人

猪之鼻奨学会寄附金結果報告

千葉大学医学部・薬学部同窓会員

および関係者各位

平素より公益財団法人猪之鼻奨学会の事業につきましても、多くの方々からの深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

2020年度に実施されました寄附金は、下記のように、大勢のご賛同とご協力が得られました。ここに報告させていただきます。

ご寄附いただきました金員は、当奨学会の事業費として有効に活用させていただきましたと存じます。お蔭様を持ちまして2020年度における助成件数は5件、総額150万円の研究助成金を交付することができました。

今後とも、皆様方の暖かいご支援とご指導をいただきながら当奨学会の発展に理事・評議員共に更なる努力を重ねる所存です。ここに深甚なる謝意を表するとともに、皆様方のご健勝とご発展を祈念申し上げます。

記

寄附件数 百二十九件

寄附金総額 六百三十五万三千円

二〇二二年四月一日

公益財団法人猪之鼻奨学会

理事・評議員一同

高額寄附者御芳名 (二〇二〇年度)

(敬称略)

草刈 隆	千葉県
軍司 祥雄	千葉県
幸部 吉郎	千葉県
小島 広成	千葉県
小林 和	東京都
嶋田 俊恒	千葉県
白澤 浩	千葉県
相馬 光弘	長野県
高橋 康	埼玉県
橋本 正道	千葉県
橋本 英明	東京都
服部 孝道	千葉県

久田 恵子	長野県
久田 俊和	長野県
古川 斎	千葉県
宮原 弘次	埼玉県
谷嶋 つね	千葉県
谷嶋 俊雄	千葉県
山形 優子	静岡県
山本 日出樹	愛媛県
横井 邦一	埼玉県
七夕の会	千葉県
薬友会	千葉県

薬学部昭和53年卒業生有志

二〇二〇年度寄附者御芳名 (敬称略)

氏名	都道府県
秋草 克彦	千葉県
浅野 尚	千葉県
旭 俊臣	千葉県
五十嵐 辰男	千葉県
石井 靖男	千葉県
石川 達雄	千葉県
市川 智彦	千葉県
市村 公道	千葉県
伊藤 博	千葉県
今泉 絢子	愛知県
岩倉 弘毅	東京都
上野 光一	千葉県

氏名	都道府県
大平 学	千葉県
岡田 朝志	千葉県
奥田 桂子	千葉県
柏戸 正英	千葉県
加藤 直也	東京都
門山 周文	東京都
神戸 敏行	福島県
窪田 叔子	千葉県
倉田 矩正	千葉県
倉持 宏明	千葉県
黒木 春郎	千葉県
小泉 準三	茨城県

氏名	都道府県
小林 弘忠	千葉県
小南 聡志	茨城県
齊藤 和季	千葉県
五月女 隆	千葉県
佐々木 守	千葉県
佐藤 裕俊	千葉県
獅子原 薫子	東京都
島崎 淳	千葉県
下条 直樹	千葉県
鈴木 健文	東京都
鈴木 敏幸	神奈川県
宗 永元	千葉県
園田 昌毅	静岡県
高木 一也	東京都
田中 保彦	千葉県
東條 まち子	東京都
徳久 剛史	千葉県
中村 伸子	千葉県
中山 崇	千葉県
西原 尚史	東京都
二村 静子	静岡県
花岡 大資	茨城県
花輪 孝雄	山梨県
福元 守	宮城県
松井 宣夫	愛知県
松岡 潤	東京都

氏名	都道府県
松前 元	北海道
丸田 哲郎	千葉県
水鳥川 俊夫	千葉県
三村 尚也	千葉県
向井 将	神奈川県
武者 廣隆	千葉県
柳澤 貫一	長野県
柳澤 真司	千葉県
山崎 禅	東京都
山本 和夫	千葉県
山本 恵司	千葉県
山本 友子	千葉県
山本 博憲	高知県
余田 佳子	千葉県
和賀井 信彦	千葉県
渡辺 民也	東京都
渡辺 とみみ	東京都

二〇二二年三月三十一日現在

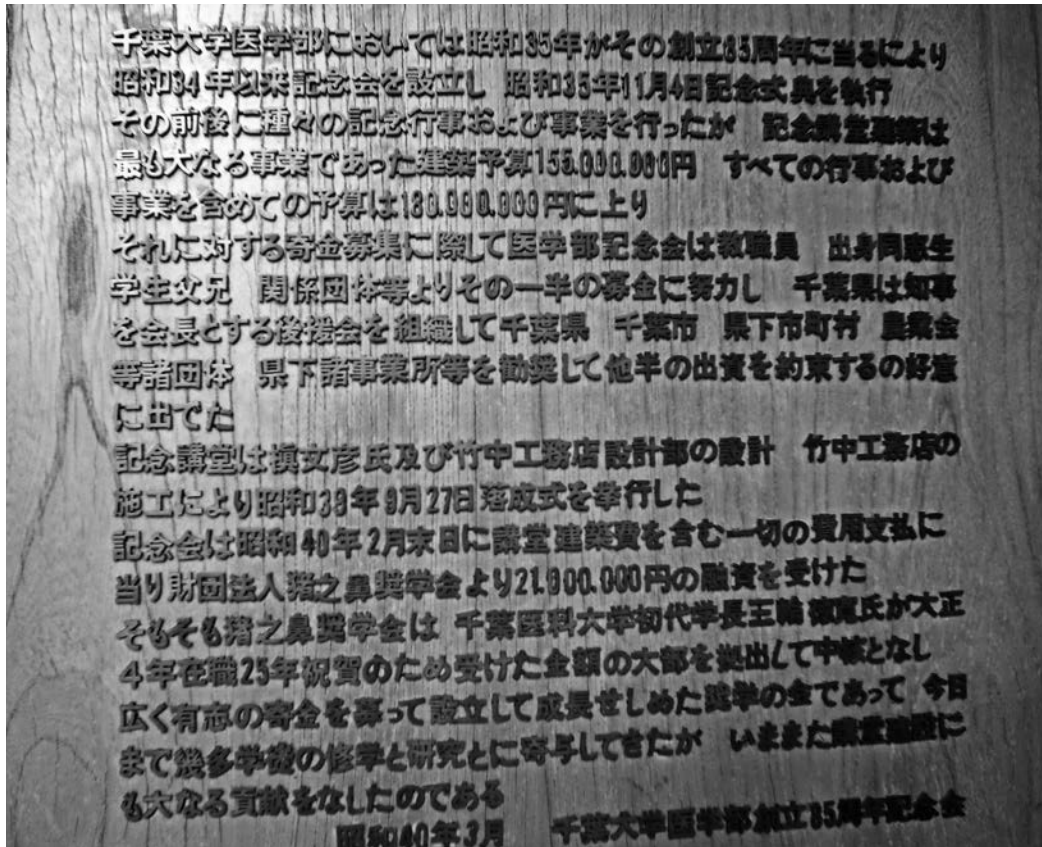
【お詫びと訂正】

猪之鼻奨学会報第24号【高額寄附者御芳名】欄にて記載内容に誤りがございました。深くお詫びさせていただきます。左記の通り訂正させていただきます。

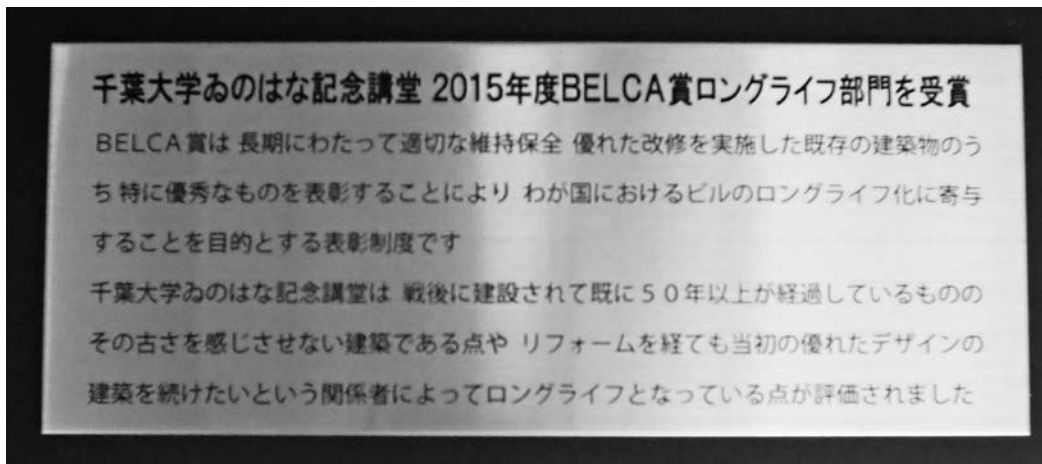
【誤】医療法人社団華青会向井診療所理事長 向井 奨 様  
【正】医療法人社団華青会向井診療所理事長 向井 将 様

猪之鼻奨学会の歴史資料

本奨学会の長い歴史の証左となる貴重な資料の一部をご紹介します。今回は医学部85周年記念として当奨学会が建てた『あのはな記念講堂』です。



講堂内記念碑



2015年BELCA賞ロングライフ部門受賞



記念講堂南側



記念講堂入口側

編集後記

令和三年は、新型コロナウイルスの一層の感染拡大により始まりました。多くの困難に直面されている皆様に心よりお見舞い申し上げます。医学・薬学領域においても、学会、研究会等の中止あるいはリモート開催の導入など大きな影響を受けております。このようなか中で、本領域は、疾病の予防・治療・病態解明の最前線に立つ職種として、極めて大きな使命を担っております。二十一世紀の現在、全世界の人類が感染症にこれほど苦しめられるとは多くの人々は予想もしていなかったと思います。改めて、医学・薬学領域の研究の大切さを痛感しております。一方、我が国における科学研究費は決して十分な額とはいえません。猪之鼻奨学会では、次世代を担う研究者に対する研究助成、学生、大学院生に対する奨学金の貸与を行ってまいりました。皆様の本奨学会へのご理解とご支援を、引き続き何卒よろしくお願ひ申し上げます。  
(理事・会長 高橋和久)